

令和5年度 第6回 引佐北部小中学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和6年2月29日（木） 13時30分から15時30分まで
- 2 開催場所 引佐北部小中学校 多目的室
- 3 出席委員 鈴木 知成、山本 培代、廣瀬 稔也、池田 信子、五十川 亜純、
松田 好道
- 4 欠席委員 萬立 芳朗
- 5 学 校 小川 誠司（校長）、山下 剛功（教頭）、岩田 敦夫（教諭）、
平田 香織（教諭）、田力 里枝（CSディレクター）
- 6 教育委員会 牧野 知子（教育総務課）
- 7 傍聴者 なし
- 8 会議録作成者 CSディレクター 田力 里枝

9 議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、池田委員が本日の議長を務めることを申し出、全員異議なくこれを承認した。

10 協議事項

- | | |
|--------------------------|----|
| (1) 学校関係者評価（いじめ問題への取組） | 校長 |
| (2) 令和6年度学校運営の基本方針について | 校長 |
| (3) 学校運営協議会自己評価 | 会長 |
| (4) 令和6年度学校運営協議会年間計画について | 校長 |

11 会議記録

司会の教頭から、委員総数7人のうち6人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

(1) 学校関係者評価（いじめ問題への取組）について

- ・4月の総会で保護者向けに説明をした。毎月振り返りアンケート（いじめ問題を含む）をしており、実施に当たっては保護者にも連絡している。今後に向けての改善点を4点挙げた。（校長）
- ・いじめの基準が変わっているので、今後件数は増えていくと考えられる。（廣瀬委員）
- ・月1度実施しているアンケートは市内でも本校ぐらい。ぜひ本校の独自色を出してほしい。（松田委員）
- ・SNS関連で取り組んでいることはあるか。（松田委員）
→大学の教授をお招きしての講座に、8年生とその保護者に参加してもらった。また、6月には5年生以上の児童生徒とその保護者に向けて、青少年健全育成センターの方から講義していただいた。（校長）
- ・学区外から通っている子供への対応はどうか。（松田委員）
→特別な対応はしていない。最初は戸惑うこともあったと思われるが、時間が過ぎるとうまくやれている。（校長）
- ・「LINE」のグループに入れられない子がいじめと感ずることもある。（松田委員）
- ・「嫌な思い＝いじめ」と短絡的に定着してしまうと、人間関係を委縮させ、かえって生きる上での必要な力をつけることを阻害するのではないか。（廣瀬委員）

・早期発見のために月1回のアンケートをしていることを、もっと保護者に知って欲しい。先生方はどのように共有しているのか。(松田委員)

→金曜日に生徒指導委員会を設けている。(校長)

・いじめの解決方法はどのようにしているのか。当事者同士で話をしたいということもあるのでは。(山本委員)

→教員が同席の下、子供同士で話し合い、解決したこともある。(校長)

・アンケートの実施はありがたい。(五十川委員)

・アンケートの後の先生方の対応が早い。(池田委員)

(2) 令和6年度学校運営の基本方針について

校長より令和6年度学校運営の基本方針について説明があった。

・中等部、高等部は目標を持つだけでなく、自主性を持たせたい。(平田教諭)

・主体性の育成にはどう取り組んでいるのか。(廣瀬委員)

→運動会の計画を子供たちで話し合っ進めている。学校の決まりについても、子供に考えさせたい。(校長)

・ふるさと科について毎年協議会で熟議されている。今後は子供たちにも考えさせたい。(鈴木委員)

→令和6年度は運営協議会に児童生徒の参加を計画している。(校長)

・小学生でも話し合いのリーダーは育てているのか。(松田委員)

→話し合いの仕方をスピーチ集会で積み重ねている。(平田教諭)

・学校の公式インスタグラムを作って発信したらどうか。(五十川委員)

・地域と世界がつながるようなテーマを設定し、ふるさと科と国際コミュニケーション科をつなげて考えることができるのではないかと。「模擬会社きりやま」の販売活動を継続するという決定は、生徒の意見も聞いてぜひ再考してほしい。(廣瀬委員)

・子供たちの話し合いや行動には時間がかかるので確保が難しい。大人がそれを待てるのかも問題。(池田委員)

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

(3) 学校運営協議会自己評価

評価項目1

・校長より丁寧な説明があり、熟議ができた。(山本委員)

・グランドデザインが時代に即して変化していくことも学べた。(鈴木委員)

・委員同士の意見交換をするには、時間が足らなかった。(五十川委員)

評価項目3

・協議を受けて変わった部分を発信できると良かった。発信できたかよりも、伝わったかを重視すべき。(廣瀬委員)

・現状の発信以外の方法を期待されているのか。(松田委員)

・発信はされているが、受け止める側への伝わり方は調べることができない。(松田委員)

(4) 令和6年度学校運営協議会年間計画について

校長から計画案が提示され、概ね了承した。

その他、連絡事項等

司会から令和6年度第1回を5月9日(木)13:30より行うとの連絡があった。